

### データトラブル後にすべきこと

データトラブル・データ消失・データ損失された後、どのような対応を行ったのかによって、2次障害が生じたり、復旧作業に深刻な影響を及ぼし**データ復旧**自体を困難なものにしてしまうこともあります。

データトラブルが発生したら適切な対応で大切なデータを守りましょう。

### まずは、落ち着いて安全な方法でシステムを止めて下さい。

安易にデータ復旧を試みたり、再起動させたりしないで下さい。状態をもっと悪化させることもあります。

データ復旧専門家の正確な判断が求められますので、トラブル発生時の状況などを正確にお伝えください。

### 電源のON/OFFを繰り返さないで下さい。

いつもと違う動作音（異音）が聞こえる場合はすぐ電源を切って、電源のON/OFFを繰り返さないで下さい。2次障害を生じさせる危険性があります。

### ウイルス対策ソフトはその機能とウイルス情報をよく確認してからご使用下さい。

ウイルスに感染された場合、ウイルス対策ソフトを使用すればデータ復旧が出来なくなる事もありますので、ウイルス情報とソフトの機能をよく確認した後、使用しなければなりません。

[ウイルス感染によりデータが損傷された場合詳細はこちら](#)

### ソフトウェア（Software）のインストール及びデータ保存はしないで下さい。

データが削除された後には新しいソフトウェア（Software）をインストール（Install）したり、他のデータを保存してはいけません。

新しく情報が上書きされてしまいデータ復旧率を落とす一番の原因となります。

### パーティション（Partition）を再構成した場合

パーティション(Partition)の変更・移動・再構成中にパーティション(Partition)情報が損傷され、ハードディスクが正常に認識されなくなる障害も多く発生しております。

データ復旧のために応用プログラムを実行させたり、フォーマットを行ったりするとデータ復旧率を落とすこととなりますので、注意しなければなりません。

障害発生後何もせずにご相談いただければデータ復旧はまず可能です。[データ復旧研究センター](#)にご連絡ください。

### 復旧ソフトをご使用する場合は、注意事項、機能をよく読んでから実行させて下さい。

データ障害が発生したハードディスク（Hard Disk）から復旧用のソフトウェアを実行すれば、データ復旧率を落とす一番の原因となりますので、注意をしなければなりません。ハードディスクの電氣的、機械的な問題の場合にはかえって症状を悪化させることもあります。

なぜなら多くのファイルデータ復旧用ソフトウェアは、メディアが正常に働いていることを想定して作動するからです。

### 物理的な問題と予想される場合は、絶対に電源を入れないで下さい。

ハードディスクを落としてしまった場合や外部から強い衝撃を受けた場合、異音がする場合などには、絶対に電源を入れないで下さい。

ハードディスクを落とし衝撃が加わると、ヘッドとディスクがクラッシュされることがありますので、その状態でモーターを回転させるということは後戻りの出来ない致命的な損傷を与えることを意味します。

すぐに[データ復旧研究センター](#)までご相談ください。

### 不良セクタ (バッドセクタ、Bad Sector)により読み書きエラーが発生した場合

不良セクタ (バッドセクタ、Bad Sector)が発生した場合ディスクユーティリティを実行することは、とても危険です。  
まず、復旧専門家にご相談下さい。

不良セクタとはディスクの物理的な損傷により、データを記録できなくなってしまったセクタのことをいいます  
[不良セクタ詳細はこちら](#)

### 水に浸かった場合は乾かさないうで下さい。

浸水されたメディアのデータ復旧の可能性は意外に高いです。一度メディアが水に浸かったら濡れている状態、または乾いている状態でも電源のオン・オフは絶対にしないでください。

濡れたタオルなどでハードディスクを包み、出来るだけ濡れた状態を維持させながらご相談下さい。

いち早くデータ復旧を始めることがデータ復旧率を高める唯一の方法です。

[落雷、火災、浸水により損傷を受けた場合詳細はこちら](#)

### 火災の場合

火事の場合も浸水の場合と同じで、拭いたり乾かしたりしないで下さい。なるべく元の状態を保ちながらデータ復旧を依頼して下さい。

[落雷、火災、浸水により損傷を受けた場合詳細はこちら](#)